

飯坂町周辺地域づくり協議会ニュース

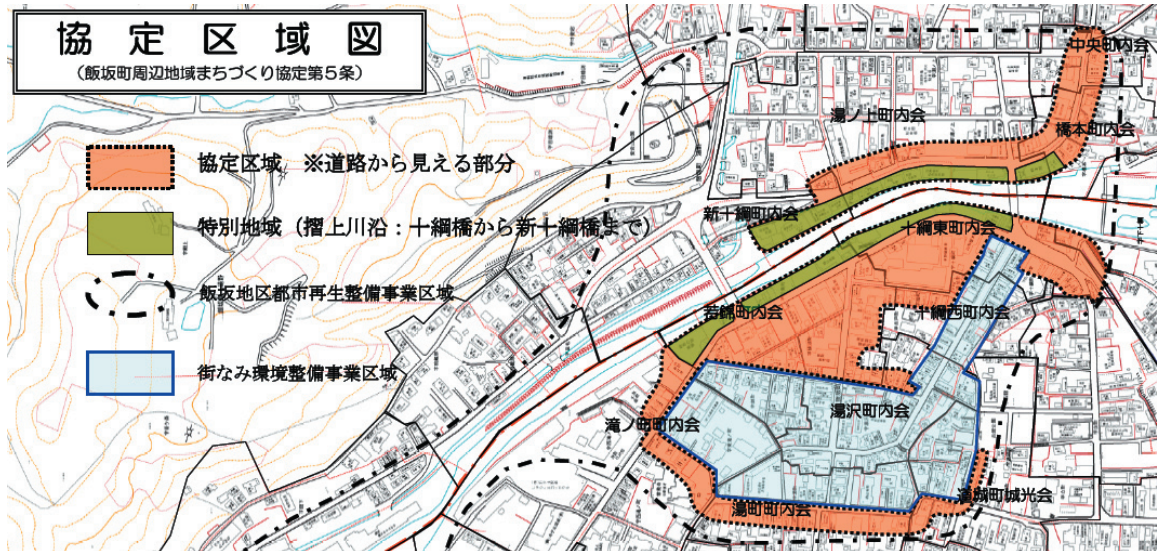
第5号 2007年7月

飯坂地区と湯野地区の3,570戸の皆様へ

「住民とお客様のための地域づくり」を52名の
協議会員と語り合っていると、幸いです。

会長 遠藤孝秀 事務局：飯坂町十綱町3
飯坂温泉観光協会内 024-542-4241

特集：住民協定と修景整備事業（修景整備推進委員会担当）



協議会では住民みんなで飯坂の和風の風景を造っていききたいと、願っています。この住民協定とは、「和風」の外装の建築物が増えることに賛成し、機会があれば自分の家屋店舗も和風に衣替えします、という紳士協定です。どんな和風なのかは、協議会ニュースと同時に配布される「飯坂町周辺地域まちづくり協定」パンフレットをご覧ください。内容は、隣接する「湯沢のまち環の住民協定」におおむね準じています。

昨年……該当する11の町内会の協力で、「飯坂町周辺地域まちづくり協定書（住民協定）」に、該当者132名中112名のご署名が集まりました。

2月28日……福島市に「まちづくり協定承認申請書」と「景観協定認定申請書」を提出し、承認していただきました。同時に、補助制度も設けられました。「協定区域には、事業総額300万円以上の場合、補助限度額が200万円」「特別地域には、事業総額900万円以上の場合、補助限度額が600万円」です。事業総額が上記の金額より少ない場合は、その3分の2の補助金額となります。補助金の支給までには、希望者の申請、「住民協定」の代表者である協議会による修景デザインの承認、施工時期、補助金総額の限度など、様々な条件を満たし、幾つかの手続きを経ることになります。

4月23日……第2回修景全体説明会を行いました。

6月20日……平成19年度に補助を希望する7件の申し込みをお受けしました。

6月26日……「協議会内での優先順位の選定」を行いました。協議会はその結果を福島市へ伝え、今、福島市内部で精査しているところです。

また、平成20年度の補助申し込みを、この夏に受け付ける予定です。住民協定者の方々には郵送などで、ご連絡申し上げます。

補助制度はありますが、補助がなくても、自分の建物が飯坂の風景の一部を造っていると考えるになり、住民が和風の景観作りに参加していただくと幸いです。



(修景整備推進委員会) ……担当事項：修景整備。

委員長……遠藤孝秀、委員……安斉忠作、川又知子、鈴木信男、斎藤一哉、松崎益一、黒澤仁、大山善治郎、和泉田久江、川又勝彦、葛岡藤馬、斎藤伸洋、安斎市兵工、佐藤継男、阿部孝義、長谷部正（正副会長5名と該当する11町内会の11名）

■ 12～6月の活動……3月26日……4月23日（第2回修景全体説明会）……6月26日。

★福島市（飯坂地区）が、国の「まち交大賞（東北地方）」を受賞★

私たちの協議会が福島市と協働で進めているまちづくり（飯坂地区都市再生整備事業）には、国からの「まちづくり交付金」が活用されております。

「まちづくり交付金」は、金額の違いはありますが、東北地方では99地区に交付されています。その中で、優良な計画が策定された地区を表彰する「まち交大賞」東北地方大会に福島市（飯坂地区）が、他の2地区とともに東北地方の代表となり、去る2007年2月27日に表彰されました。

このたびの表彰は、受賞地区の事例を全国に紹介するばかりでなく、受賞者の栄誉をたたえ、地域への激励を込めたものです。

私たちが住民側となつての行政との協働は、その多くはまだ目に見える姿になって実現していませんが、そこへ至る組織作りや取り組みの姿勢が国によって表彰され、たいへん嬉しく思います。



(第1委員会) ……担当事項：道路整備、芭蕉の碑ポケットパーク、など。

今年度より道路美装化工事を予定しております。道路沿線の関係者には、説明会を開催いたします。

6月3日に、芭蕉の碑ポケットパークの予定地及び石段（ちゃんこちゃんこ）の草刈りと清掃を行った滝ノ町町内会のお手伝いをしました。

委員長……松崎益一（庶務・湯沢町内会及び飯坂町商工会）

副委員長……神野忠（庶務・花岡町内会）、佐藤裕美（庶務・飯坂町商工会）

委員……佐々木友三（花岡町内会）、和泉田久江、大沼征子（滝ノ町町内会）、川又勝彦、西山友幸（湯沢町内会）、佐藤嘉久男（湯沢町内会）、菅野勉、長谷川迪夫（導専町内会）、黒澤仁（湯ノ上町内会）、紺野幸子（庶務・飯坂温泉旅館協同組合）、小水秀也（飯坂温泉旅館協同組合）

■ 12～6月の活動……12月11日……1月22日……2月13日……2月26日……6月3日。



●全体に関わる活動日……3月29日（4つの委員会活動報告会）……4月25日（旧若喜本店解体撤去地現地研修）……5月29日（役員会）……6月28日（第2回総会と懇親会）。

(第2委員会) ……担当事項：河川整備、拠点施設、公衆浴場、など。

継続して、旧若喜跡地整備を話し合っています。5月8日の会議から、アドバイザーとして波来薬師地元関係者代表である、十綱西町内会の深沢耕一氏に参加していただいております、「ほっと息がつけるような空間」にしたいと、案を練っています。

旧若喜跡地は約300坪ですが、幅が充分とは言えず、県道から6m～12mほど低まっています。測量後に詳細な設計が可能になりますので、以下の、協議会の希望の項目がすべて実現されるわけではなく、正確な広さと高低差が測量された段階で取捨選択される可能性もあります。ご了承下さい。

- 1... 若喜旅館跡地に新築の公衆浴場を建設し、公園整備とあわせて行いたい。
- 2... 新築公衆浴場は男女別に熱い浴槽とぬるい浴槽の2槽としたい。
- 3... 身障者駐車場とエレベーターを設置が望ましい。
- 4... 波来薬師、乙和の清水の既存資源を活用したい。
- 5... 波来薬師への参道(ちゃんこちゃんこ)は美装化を行いたい。
- 6... 全ての土木建築物は、和風のイメージを目指します。



委員長……藤原純(庶務・飯坂温泉観光協会)

副委員長……黒澤仁(庶務・湯ノ上町内会)、二階堂信子(庶務・飯坂方部女性団体連絡協議会)

委員……村上圭子(湯ノ上町内会)、佐藤継男、中村健(新十綱町内会)、畠宏之、穴戸信義(赤川町内会)、斉藤光朗、斉藤伸洋(若錦町内会)、安斎市兵衛、清野雅美(十綱東町内会)、岸波勝正(舘下町内会)、佐々木繁、桜井利男(愛宕西町内会)、遠藤よね子(庶務・飯坂方部女性団体連絡協議会)、大山弘明(飯坂温泉観光協会)

アドバイザー……深沢耕一(波来薬師関係者代表)

■12～6月の活動……12月5日……1月9日……1月23日……2月13日……2月27日……5月8日。

(第3委員会) ……担当事項：もてなし空間、まちづくり活動の実践、水質改善、交通対策、など。

引き続き、福島交通様が事業主体となる飯坂温泉駅の修景、「もてなし」というソフト面について話し合っています。

委員長……山田栄治(庶務・飯坂町商工会)

副委員長……大山善治郎(庶務・十綱西町内会)、高橋美奈子(庶務・飯坂温泉旅館協同組合)

委員……葛岡藤馬、丹野信吾(道城町城光会)、丸野内隆一郎(十綱西町内会)、舟山芳朗、島貫栄治(鮎川町内会)、山田邦男、井口俊三(立町親和会)、阿部孝義、寺島利男(橋本町内会)、長谷部正、佐藤豊一(湯野中央町内会)、阿部寛(飯坂温泉旅館協同組合)、須藤君夫(飯坂温泉観光協会)

■12～6月の活動……2月16日。

協議会への、行政からのオブザーバー

福島県：県北地方振興局地域づくり・商工労政グループ、県北建設事務所企画調査グループ

福島市：商工観光部観光課、建設部河川課、都市政策部都市計画課、都市政策部市街地整備課、都市政策部交通政策課、飯坂支所

これまでの経緯やマップ、ニュースなどは、<http://www.iizaka.com/> をご覧下さい。

旧若喜旅館本店残存建築物の撤去と整備に ご署名、ご寄付いただいた皆様へ

(旧) いいざか夢づくり連合会 会長 鈴木信男

私たちの署名と募金を受理していただいた福島市より、地権者である飯坂温泉旅館協同組合へ解体工事費の一部が補助され、平成19年3月に、目的の半分である撤去工事が完了しました。私たちが心を一つにできた結果です。あらためて、感謝申し上げます。



(平成6年～18年の12年間)



目的の残りの半分である跡地利用に関しましては、当該300坪は行政に寄贈される予定であり、飯坂町周辺地域づくり協議会が十数回の会議を重ね、鋭意、整備案の検討をしております。

参加団体 飯坂地区町内会連合会、湯野地区町内会連合会、飯坂温泉観光協会、飯坂町商工会、飯坂温泉旅館協同組合、飯坂方部女性団体連絡協議会、飯坂食親会、飯坂ロータリークラブ、飯坂芸妓芸妓屋組合、飯坂温泉バンケットサービス業協同組合、福島県バンケットサービス業協同組合福島支部、飯坂社交飲食業組合、飯坂マッサージ師会、日本バンケット事業協同組合福島県支部、飯坂町金融団、飯坂ライオンズクラブ、福島県飯坂建設組合(順不同)。

支援団体 飯坂方部自治振興協議会。

